

令和5年度自己評価結果公表シート

青英学園幼稚園

1. 本園の教育目標

- ◇ 基本的な生活習慣と正しい生活態度、(挨拶、言葉遣い、整理整頓、交友関係、お話を聞く態度等) 特にお話を聞く時の態度と理解力の向上を図り、集団生活で必要な協調性を養う。
- ◇ 何事にも集中して粘り強く取り組む姿勢を養い、成し遂げた喜びと満足感が自信になり、そこからさらに積極的で明るい性格に育つように導く。
- ◇ 体育・徳育・知育の総合教育を偏りなく実施し、幼児の未知なる可能性と伸び伸びした豊かな心を育む。

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ◇ 教育の資質向上への取り組み
教育課程の内容を確認し、全職員間で各園児の指導の課題点を話し合う機会を増やすと共に、保育の指導案の見直しをする。
- ◇ 戸外活動の充実をはかり、基本的な運動能力を高め、身体をよく動かすことで病気にならない身体をつくる。
- ◇ 安心、安全、衛生に配慮した子どもが育つ環境づくりをする。
- ◇ 子どもたちへの理解を深め、保育を通して子どもの成長に気づき、子育ての喜びを保護者の方と一緒に共感しあい信頼関係の構築に努める。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	評価	取組状況
教職員の指導能力向上	A	<ul style="list-style-type: none">・ 研修形態を ZOOM や WEB 視聴を活用して積極的に受講して知識の向上に努めている。・ 毎日の朝礼終礼で日々の子どもの姿、又は保護者からの意見・要望について、報告・連絡・相談の場を設けて情報を全員が共有する環境を作っている。・ 刻々と変わっていく情勢を敏感にとらえ、必要な知識を職員間で共有していく。
園児に接する時の基本姿勢を周知徹底	A	<ul style="list-style-type: none">・ 特に、言葉遣いの適正を意識し、親切かつ丁寧な接し方を再確認の上、常に教職員が手本となり行動で示す。・ 一人ひとりの子どもの長所を認め、教諭が公平かつ客観的に園児を見る目を養うように努める。
防犯対策	A	<ul style="list-style-type: none">・ 避難訓練内容の見直しや、マニュアルの再確認、フローチャートの役割分担内容把握を徹底しました。9月に監視カメラを設置してさらに安全対策に努めました。

食育に関する実践	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手洗い・うがい・食事の挨拶やマナー等、良い習慣を常に意識した指導を心掛ける。(毎月19日に食育指導を実施) ・ 旬の食材を生かし、年中行事に応じた季節感を感じることができるよう献立をつくる。又新メニューを取り入れる工夫をしています。 ・ 季節の野菜の栽培などを計画して食べる意欲へとつなげていく。
園舎・園庭などの環境整備	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 常に安全に遊べるよう定期的に遊具点検を行い記録をつけている。又ニュースでの事故事例があった時には自園の点検も速やかに行いました。 ・ 2階エクステリア修理、ブランコのチェーンの取り換えをしました。 ・ 桜の木にクビアカツヤカミキリムシ確認あり。ネット対応しました。
安全衛生管理	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ AEDを園の玄関に設置し、まちかどAEDに登録しました。 ・ バス車内取り残し案件を受けて、園内での見直しや安全管理を再確認を行うと共に、夏休み期間にバス警報ブザーを全車に取り付けました。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

評価 A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年も自己評価を行う機会を設けました。その結果、全職員が高い意識をもって目標達成に取り組むことが出来ていた。 又働き方改革により、子育て中の職員も有給休暇を利用しながら保育への取り組みも以前より充実してきました。 ・ 防犯対策、安全衛生管理では、改善すべき点に取り組めたので、引き続き持続していきます。
------	---

5. 今後取り組むべき課題

小学校との連携を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・ 訪問する小学校数を増やし、見学、交流会などを通して、進学への不安解消に努めると共に、小学校への段差の解消に努める。
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 危機管理マニュアルの見直しを毎年行い、定期的にマニュアルを読み合わせ、緊急フローチャートの役割分担等しっかり把握して意識統一を志す。 ・ これまでのヒヤリハット・事故報告書を振り返る園内研修を実施して、安全面に十分留意しながら保育に取り組みます。
働きやすい環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 誰もが安心して発信や行動ができる職場づくりの構築をする。 ・ 職員間のコミュニケーションの円滑化をはかる。 ・ 職員一人一人が活かされる職場を目指す。
環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遊び方の注意をしっかりと伝えると共に、遊具等の設備の点検と安全性を高め、人員配置の見直しも行う。 ・ ホームページのブログなどを活かして、子ども達の日々の姿や写真やコメントを通して保育の在り方を保護者の方々に伝えられるようにすると共に ICT 化の取り入れを検討する。